

災害時における4大情報

1. 対話による情報 (手段: 直接会う)

得られる情報... 食料の情報など、その場での生活に必要な情報

これまでの欠点 ... 特に都会ほど近所付き合いが薄い傾向があり、いざという時頼ることができる人がいない

アイデア 自治会ごとに **安全委員会** をつくる

年2,3回集まり、避難先や避難路、食料の備蓄や連絡先を一元的に管理し、緊急時に指揮をとる
人命に関わるため、きちんと法令で定め、会長も投票などで決めるのが適当。

2. メディアによる情報 (手段: テレビ, ラジオ, 新聞 など)

得られる情報... 被害状況, 支援の内容 など

これまでの欠点 ... 報道へりは支援するものではないにもかかわらず非常にうるさく被災者に迷惑
直接被災者に役立たない情報も多い

アイデア1 **報道へりの規制**

報道社ごとに時間をずらし、重なりを極力避ける

アイデア2 **情報を細かくする** ための支援をする

地元メディアが地元の情報をスムーズに伝えられるよう、メディア用の支援を別枠で設ける

3. 連絡による情報 (手段: 携帯電話, 公衆電話, PCメール など)

得られる情報... 直接会えない知人などの安否確認

これまでの欠点 ... 通話回線が混雑し、つながりにくくなる

アイデア **無線(アマチュア無線)の利用**

講習などをもっと開催し、多くの人々に知ってもらい、資格をとってもらう。
永久資格なので、一度取れば更新だけすればよいので便利。

4. 案内による情報 (手段: 掲示板, 標識, 町内放送 など)

得られる情報... 避難路や避難指示

これまでの欠点 ... ハンディキャップがある人への対応が不十分。

アイデア **非常用電子タブレットの導入**

避難路を登録しておいて音声案内する機能、
また 災害用伝言板へのリンク機能もつける。

